

H25プロジェクト tagawa-IT地域戦略構想

(平成25年～田川地域新産業創出ビジョン)

こうざき 聡 ホームページ
<http://www.kouzakisatoshi.com>

tagawa-IT地域戦略構想

H25プロジェクト方針

□ 目指す姿

平成25年田川地域の将来像

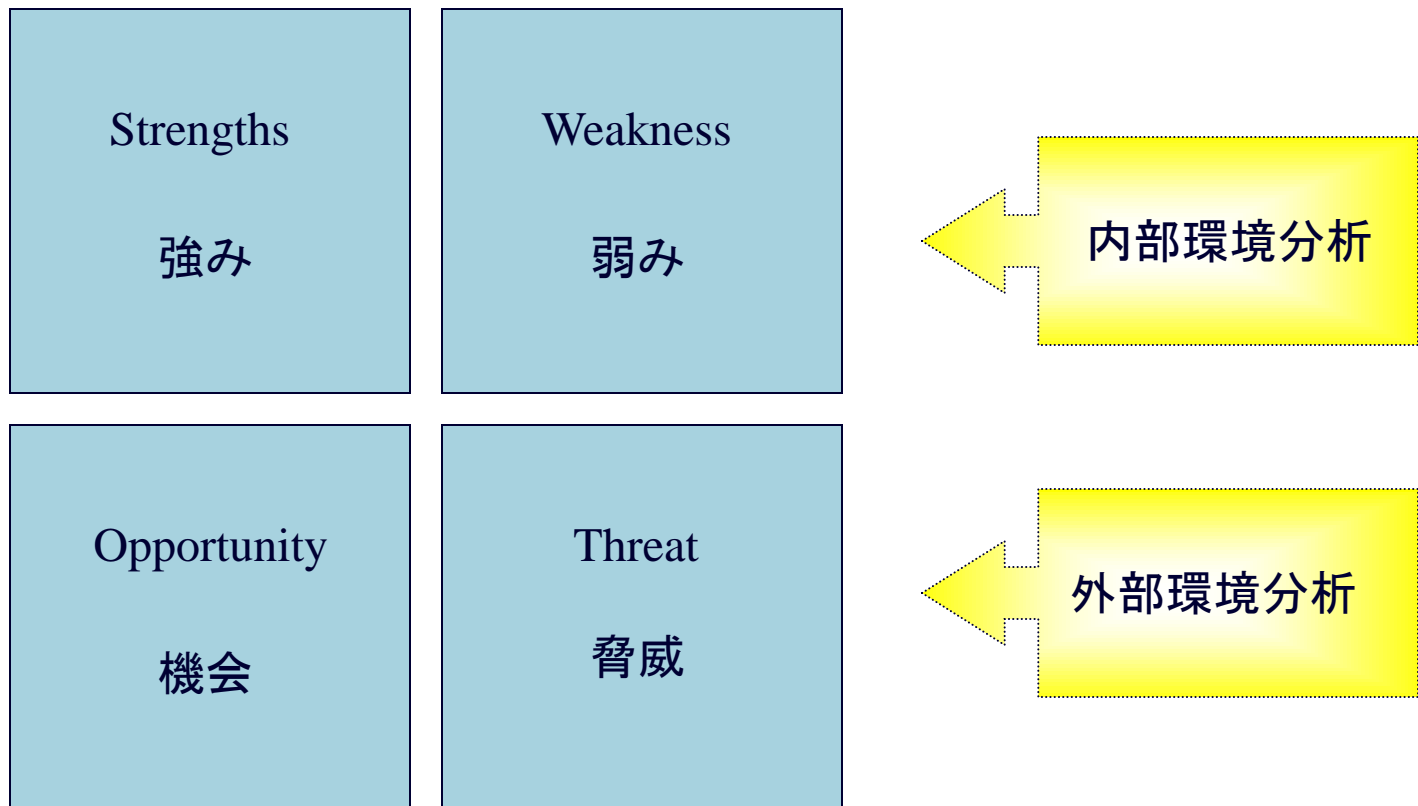
「高齢化社会のモデル地域—健康・観光・環境産業都市—」

□ H25プロジェクトの方向性

1. 健康をベースに住み続けたい街、訪れたい街への挑戦
2. 福岡県立大学の人材・知的資産を活用した健康産業集積
3. 産学連携による地域発開発案件創出、研究所誘致
4. 新産業創出と既存企業を活性化を支援するシステム構築
5. 脱3K(暗い・きつい・汚い)→新3K(健康・観光・環境)+IT

tagawa-IT地域戦略構想

H25プロジェクトSWOT分析



H25プロジェクト

SWOT分析～強み①

- 高齢化社会に対しての地域力・大学力がある。地産地消の気運が高い。物産館・温泉等の整備されている
- 健康に対してのニーズが非常に高い
- 物価が安い
- 介護施設等が多い
- 県内の福岡市、北九州市、久留米市等主要都市に（車で）1時間半以内でいける位置

H25プロジェクト

SWOT分析～強み②

□ 大学・高度教育研究機関、産業支援機関の存在

➤福岡県立大学

高度な福祉社会の実現に貢献できる人材の育成、特に地域政策や福祉行政、生涯学習、看護など地域社会の幅広い分野で活躍できる人材の育成。生涯福祉研究センターとヘルスプロモーション実践研究センターで地域密着型の生涯発達から生活習慣病の予防、高齢者の生きがいづくりの研究。

➤九州日立マクセル

高齢化社会、健康志向のニーズに対応するために、医療機器に求められる高度な品質管理体制を構築。

➤CSKサービスウェア

アウトソーシングサービスの提供。コールセンターにおける問い合わせや注文受付。WEBサイトでの通信販売やメール等でのコミュニケーション、営業アプローチやテレセールスサービスへの展開。

H25プロジェクト

SWOT分析～弱み

- ビジネスの市場がない
- 大企業の集積がない
- 人材の集積が弱い～刺激が少ない
- 教育した人材を活用する場(案件)がない
- H25プロジェクト(tagawa-IT地域戦略構想)オリジナルリティの欠如

H25プロジェクト

SWOT分析～機会

- 地域再生・地域資源活用の動き
- 外国人、留学生の増加
- 北九州空港、烏尾トンネル、322号201号整備
- 道の駅・田川観光(温泉等)マップ～クラスター構成
- 農林業を主体とする環境ビジネスへの挑戦

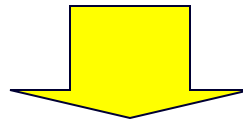
H25プロジェクト

SWOT分析～脅威

- 既存企業・産業の衰退・撤退
- 急激な少子高齢化と若者の流出
- 病院の維持が困難（医師不足）、他地域が医療・福祉・介護等へのネットワーク促進

H25プロジェクトの現状と目標

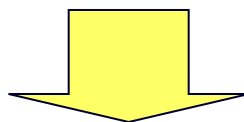
市場、案件がない ⇒ 企業人にとって刺激がない(開発環境として田川はすばらしいが) ⇒ 人が流出する ⇒ 経済の停滞



研究者、開発者にとって刺激のあるまちになる ⇒ 案件を作る(田川だからこそできること) ⇒ 人が集まる ⇒ 経済の活性化

H25プロジェクトの方向性

H25プロジェクト(tagawa-IT地域戦略構想)の
『強み』をさらに強く、『弱み』を克服し、『機会』を活用し、『脅威』を排除する
— SWOT分析結果 —



H25プロジェクトの方向性

- 日本一安心・安全で健康をベースに住み続けたい街、訪れたい街への挑戦と福岡県立大学の人材ならびに知的資産を活用した新しいプロジェクトの創出により、人材の定着と新産業創出を図る(研究所集積と健康産業集積を目指す)。
- 地域で開発案件を創出することで、大学等で育成された人材(留学生を含む)が開発に参画するとともに、新産業創出と既存企業の活性化を支援するシステムの構築を目指す。
- 健康産業都市としての環境整備により、学生・研究者の確保促進と産学連携の強化による経済発展を目指す。